

第3章

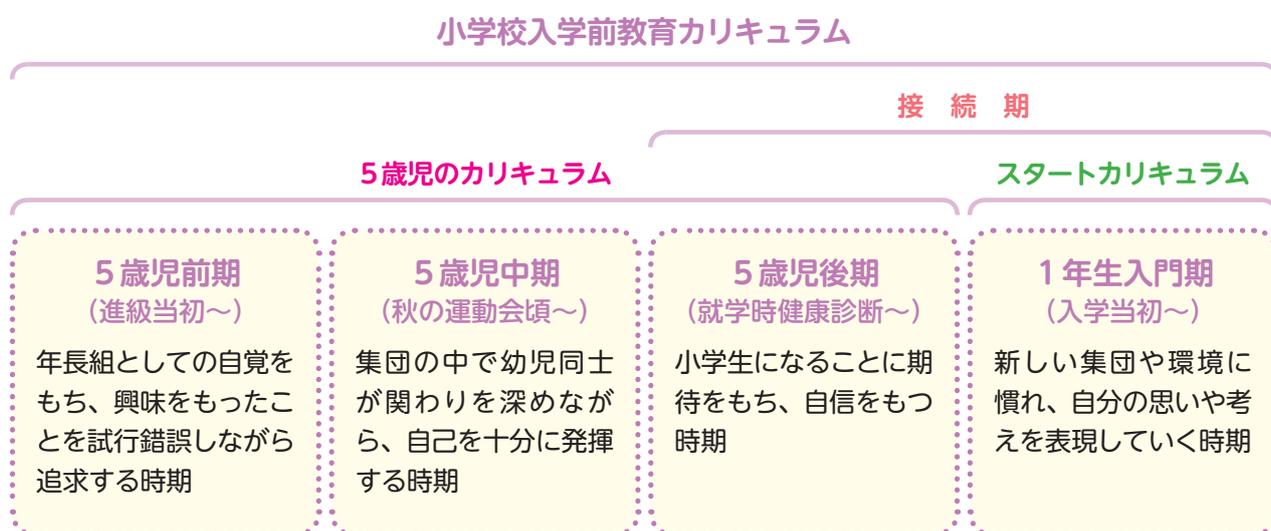
小学校入学前 教育カリキュラム について

第3章 小学校入学前教育カリキュラムについて

1 小学校入学前教育カリキュラム

小学校入学前教育カリキュラムは、5歳児のカリキュラムと、小学校第1学年の入学当初から1学期頃までのスタートカリキュラムをつなぐカリキュラム全体のことで、幼児期の育ちと学びを小学校教育につなげるためのカリキュラムです。(下図参照)

本カリキュラムでは、接続期を5歳児後期から1年生1学期の期間としています。5歳児の発達の流れを重視し、5歳児前期から小学校入学後1学期までをおおむね4期に分け、下記のように各時期を意味付けました。



本カリキュラムの内容は、港区のスタンダードとして、区内全ての保育園・幼稚園・認定こども園・小学校で身に付けさせたい内容です。

小学校以降の生活や学びの基盤となる経験ができるよう、保育士、幼稚園教員と小学校教員が、発達段階の違いからくる「遊びの中での学び」と「各教科などの授業を通じた学習」という学び方の違いを理解することが重要です。

さらに、幼児期にふさわしい生活を通して育まれた資質・能力を踏まえ、幼児教育と小学校教育との接続が円滑に行われるようにすることをねらいとしています。

(1) 保育園・幼稚園・認定こども園で身に付けさせたい内容

5歳児前期から5歳児後期までの各期における保育園・幼稚園・認定こども園で身に付けさせたい内容を、三つの力を視点に具体化しました。

三つの力とは、**生活する力**、**発見・考え・表現する力**、**かかわる力**です。幼児に身に付けさせたい内容が身に付いているかを評価し、自分の指導を振り返る指標にもなります。また、小学校との連続性を見通した指導が展開できるよう、1年生入門期(4～5月)も載せました。(P32 参照)

(2) 5歳児のカリキュラムの作成におけるポイント

保育士や教員が活用しやすいように、前期（4月）、中期（11月）、後期（2月）を例として示しています。各園ですでにある教育課程・全体的な計画、年間指導計画等の見直しや具体的な指導の内容とするための参考としてください。

作成にあたって、以下の5点をポイントとしてあげました。

5歳児のカリキュラムの作成におけるポイント

① 身に付けさせたい内容

具体的な視点を設定する。

<生活する力における具体的な視点>

- 自分のことは自分でする
- 健康で安全な生活をする
- 体を十分に動かし、進んで運動しようとする

<発見・考え・表現する力における具体的な視点>

- 好奇心や探究心をもつものとかかわる
- 感じたこと・考えたことを言葉で伝える
- 文字や数量などの感覚を豊かにする

<かかわる力における具体的な視点>

- あいさつをする
- 人とかかわる
- きまりや約束を守る

② 家庭との連携

保護者への働きかけの内容を、「三つの力」に対応させて明確にする。

③ 具体的な指導上の留意点

その時期の大切な指導のポイントを明確にする。

④ 環境の構成の工夫

環境の構成の工夫について、特におさえておきたい内容を示す。

⑤ 具体的な活動例

具体的な活動がイメージできるように例示する。

（ただし、幼児の実態や、興味・関心に応じた活動となるようにすること）

園で身に付けさせたい内容

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

5歳児前期

年長組としての自覚をもち、興味をもったことを試行錯誤しながら追求する時期

5歳児中期

集団の中で幼児同士が関わりを深めながら、自己を十分に発揮する時期

生活する力

- 自分のことは自分でする
- 健康で安全な生活をする
- 体を十分に動かし、進んで運動しようとする

- 生活の流れや準備・片付けの手順などを意識して、一定の時間内に終えようとする
- 着替えや持ち物の始末を自分でする
- 遊んだ後の片付けを自分から気付いて行う
- 進んで戸外に出て多様な動きを楽しむ
- 遊具や用具の使い方が分かり、安全に気を付けて遊ぶ
- 食べることの楽しさが分かり、食べ物に関心をもつ

- 一日の流れに大まかな見通しをもち、時間を意識しながら友達と声をかけ合って生活をする
- 自分の所持品の整理や脱いだ服の始末を丁寧に扱う
- 必要性を感じて、園や学級の共同・共有の物を片付ける
- ルールのある遊び、集団での遊び、いろいろな運動遊び（マット、鉄棒等）を楽しむ
- 危険な場所が分かり、安全に気を付けて行動する
- 様々な食べ物への興味や関心をもって、進んで食べようとする

発見・考え・表現する力

- 好奇心や探究心をもってものとかかわる
- 感じたこと・考えたことを言葉で伝える
- 文字や数量などの感覚を豊かにする

- 身近な自然に触れて遊び、日本の自然の美しさや不思議さを感じる
- 自然物や自然の事象を遊びや生活の中に取り入れ、考えたり工夫したりして遊ぶ
- 思ったことや経験したことをいろいろな方法で表現する
- 園の仕事（誕生会の係など）を受けもち、大勢の前で発表する
- 絵本や物語を通してイメージを膨らませて遊ぶ
- 遊びや生活に使う簡単な標識や文字、数量（大小、高低、長短、軽重等）に興味をもつ

- 秋の自然物等、身近な環境に積極的にかわり、取り入れて遊ぶ
- 物の仕組みに関心をもったり、試したり確かめたりして遊ぶ
- 友達と遊びや生活の中でイメージや目的を共有し、思いや考えを言葉で伝えようとする
- 感じたことや考えたことを言葉で表現しようとする
- 教師や友達の話に注意して聞き、理解しようとする
- 物語や話の続きに興味をもち、学級の友達と楽しんで聞く
- 絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、イメージを豊かにしたりする
- 遊びや生活の中で、文字を読んだり、使ったりする
- 順番や勝敗のある遊びを通して人数、物の数を数えたり、物の量を比較したりする

かかわる力

- あいさつをする
- 人とかかわる
- きまりや約束を守る

- 教師や友達に自分からあいさつをする
- 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- 自分の気持ちとは異なる友達の気持ちに気付いたり、受け止めたりする
- 友達と生活する中で、きまりの大切さに気付く守ろうとする

- 友達と互いに考えを出し合ったり、尊重したり、折り合いをつけたりしながら遊びや活動に取り組む
- グループの友達と役割分担をしたり、協力したりして話し合いながら活動を進める
- 集団の中でのきまりやルールを守り、生活する

1月	2月	3月	4月	5月	6月～
5歳児後期 小学生になることに期待をもち、自信をもつ時期			1年生入門期 新しい集団や環境に慣れ、自分の思いや考えを表現していく時期		
<ul style="list-style-type: none"> ○活動の区切りや時間を意識しながら生活する ○自分の所持品の準備や管理などに責任をもって生活する ○共同・共有の場の整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く 		幼児期の 終わりまでに 育ってほしい姿 健康な 心と体 自立心 協同性 道徳性、 規範意識の 芽生え 社会生活との 関わり 思考力の 芽生え 自然との関わり・ 生命尊重 数量や図形、 標識や文字 などのへの 関心・感覚 言葉による 伝え合い 豊かな感性 と表現	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な登下校の方法を知り、通学する（登校時刻、下校時刻、放課GO→クラブ等） ○一日の流れを理解し、時間割に沿って生活する ○授業に間に合うように、体育の着替えをしたり、特別教室等（音楽室、体育館）へ移動したりする ○初めてのことや困難なことにも粘り強く取り組もうとする ○小学校の生活の場（教室、トイレ、保健室、校庭等）に慣れ、安心して過ごす ○所持品（ランドセル、算数セット、連絡帳等）や共同・共有の物（給食の白衣等）の片付けの仕方を知り、丁寧に使う ○めあてをもって楽しく運動に取り組む ○給食の配膳を自分たちで行う ○友達と一緒に、好き嫌いをなく楽しく給食を食べる 		
<ul style="list-style-type: none"> ○少し難しいことにも繰り返し挑戦し、できるようになった自信をもつ ○危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする 			<ul style="list-style-type: none"> ○学習の中で発見する喜びや、できるようになった喜びを味わう ○授業中、教師や友達と対話する中で、新たな気付きや発見をする ○板書された書き言葉と補助的な絵、写真等を見て、質問の意味をよく聞いて理解する ○困った時や話したいことがある時、自分の言葉で考えて自分から伝える 		
<ul style="list-style-type: none"> ○食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる 			<ul style="list-style-type: none"> ○自分の名前を文字で書く ○問いに対して思ったこと、考えたことを文字で書く ○教室内、学校内にある表示や図、文字等の意味を理解する 		
<ul style="list-style-type: none"> ○冬の自然現象に関心をもって関わる中で、発見したり、疑問をもって調べたりする ○一つのことを繰り返し試したり確かめたりして、じっくりと取り組む 			<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えたことを自分の言葉で話す ○友達の話をよく聞き、相手に分かるように話す ○その場の雰囲気や状況に合わせた言葉の使い方や表現の仕方（声の大きさ等）が分かり、相手に分かるように筋道を立てて話す 		
<ul style="list-style-type: none"> ○数の必要性や便利さに気付き、比べたり、分けたり、数えたり、読んだり、書いたりしながら進んで使う ○文字を使うことの楽しさや意味に気付き、生活の中で文字を使って伝える喜びを味わう 			<ul style="list-style-type: none"> ○学校にいる人たちや友達に親しみの気持ちをもってあいさつをする ○小学校の教師、学級や学年の友達、縦割り班の上級生等、小学校のいろいろな人や、地域の方とかわる中で、自分は〇〇小学校の一員であることを自覚して行動する ○困っている友達がいたら、聞いてあげたり教えてあげたりする ○安全の約束やきまりを守って行動する ○学習に向かう規律を守ることで、気持ちよい生活が送れるということを理解して行う 		
<ul style="list-style-type: none"> ○自分から進んであいさつをしたり、お礼の気持ちを伝えたりする ○友達と互いのよさを生かし合い、共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた充実感を味わう ○学年や園全体への指示や課題を自分のこととして受け止め、自信をもって行動する ○みんなで一緒に活動する中で、学級の一員としての力を発揮する ○就学することを喜び、自分の成長に自信と自覚をもつとともに、お世話になった人への感謝の気持ちをもつ ○よいことと悪いことの区別が分かり、自分で考えて行動する 			<ul style="list-style-type: none"> ○【例】・授業のはじめと終わりには礼をする <ul style="list-style-type: none"> ・手を挙げて発言する ・相手が話しているときはよく聞く など 		

5歳児前期



4月

<指導のねらい>

- 新しい環境を、教員・保育士や友達と整え、安全な過ごし方を知るとともに自分たちの場となるようにする。
- 友達と誘い合って遊んだり、学級のみんなで関わりを楽しめるような遊びをしたりして、学級のつながりを感じられるようにする。
- 他学年との関わりや行事等で年長児として取り組むことを通し、自覚や自信がもてるようにする。

身に付けさせたい内容

家庭との連携

生活する力

- 生活の流れや準備・片付けの手順などを意識して、一定の時間内に終えようとする。
- 進んで戸外に出て多様な動きを楽しむ。
- 食べることの楽しさが分かり、食べ物に関心をもつ。

- 身の回りの始末をする姿を見守ったり、自分でしようとする意欲や思いを認めたりし、我が子が自信をもって行動できるような関わりを促す。
- 好き嫌いなく食べることやバランスのよい食事をとることが体によいことを知らせ、苦手な食材が少しでも減るようバランスのよい食事を家庭でも心がけてもらう。

発見・考え・表現する力

- 自然物や自然の事象を遊びや生活の中に取り入れ、考えたり工夫したりして遊ぶ。
- 思ったことや経験したことをいろいろな方法で表現する。
- 遊びや生活に使う簡単な標識や文字、数量(大小、高低、長短、軽重等)に興味をもったり、生活や遊びに取り入れたいりする。

- 先回りして知識や言葉等を教えるのではなく、具体的な遊びや生活の中で体験する意味と大切さを丁寧に伝え、家庭と共有する。
- 幼児が不思議に思ったことや感じたこと、考えたことを受け止め共感したり、一緒に面白がったりして、幼児の発想や知的好奇心を大切にすることを伝える。

かかわる力

- 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 自分の気持ちとは異なる友達の気持ちに気付いたり、受け止めたりする。
- 友達と生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。

- 人と関わる中での様々な感情体験を受容的な構えで支えるよう働きかける。
- 人に対してしてはいけないこと、言ってはいけないことなど、大人が善悪の判断の基準をしっかりと示し、園と家庭とで価値観を共有する。

<具体的な指導上の留意点>

- 新しい場の使い方や物の配置、安全な行動の仕方、当番活動の内容などを幼児とともに考えたり場を整えたりすることで、幼児が自分たちで生活をつくり出していく意識をもてるようにする。
- 当番活動では、教員・保育士が内容を決めて、幼児に提示するのではなく、生活上の必要感から、自分たちでできることを一緒に考えて、内容を決定するようにする。



自分たちで決めた当番活動

<環境の構成の工夫>

- 新たな場での安全な行動の仕方について共通に理解する機会を設ける。
- 教員・保育士が幼児とともに、遊具や用具、生活に必要な物の置き場所や使い方を決め、自分たちで場を整え生活を進める構えをもたせるようにする。
- 年下の幼児の世話や、関わりをもつ機会を、生活の中で意図的に設け、うれしい気持ちや思い通りにいかない難しさ等を味わえるようにする。



ボードには時間や一日の予定



年長組が年少組の世話をする活動

<具体的な活動例>

年長児としての自覚

入園式・誕生会・歓迎会

学級の友達との
つながり

園外保育

自分たちで生活を
進めていく

当番活動

入園式・誕生会・歓迎会

5歳児中期

前期 進級当初～

中期 秋の運動会頃

後期 就学時健康診断～

1年生入門期 進学当初

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

11月

<指導のねらい>

- 一日の流れの大まかな見通しをもち、時間や集団生活のルールを守って行動する意識をもてるようにする。
- 友達と考えを伝え合いながら、共通の目的に向かって協力して取り組む中で、自分の力を発揮し、充実感を味わえるようにする。

身に付けさせたい内容

家庭との連携

生活する力

- 一日の流れの大まかな見通しをもち、時間を意識しながら友達と声をかけ合って生活をする。
- ルールのある遊び、集団での遊び、いろいろな運動遊び（マット、鉄棒等）を楽しむ。
- 様々な食べ物への興味や関心をもって、進んで食べようとする。

- 時間を意識して自分なりに見通しをもって行動することの必要性を伝え、家庭でも時間の感覚がつかめるようなかわりを促す。
- 子どもが「やったことがない」「やりたくないからやらない」というのではなく多様な体の動きを親子で楽しんだり、多少苦手なことにも挑戦したりできるよう、体を動かす遊びや生活の中で体を動かす機会を大切にしよう伝える。

発見・考え・表現する力

- 物の仕組みに関心をもったり、試したり確かめたりして遊ぶ。
- 友達と遊びや生活の中でイメージや目的を共有し、思いや考えを言葉で伝えようとする。
- 遊びや生活の中で、文字を読んだり、使ったりする。
- 順番や勝敗のある遊びを通して人数、物の数を数えたり、物の量を比較したりする。

- 園であった出来事や心を揺さぶられたこと等を親子で会話する時間や、絵本等を我が子に読んで聞かせる時間を意識してつくり、親子の心の通い合いを十分に楽しむよう働きかける。
- 遊びや生活の中で実際に体験していることが、小学校の学習や生活の基盤になっていくことを園での具体的な姿を通して分かりやすく伝え、家庭生活でも実体験を豊かにできるように促す。

かかわる力

- 友達と互いに考えを出し合ったり、尊重したり、折り合いをつけたりしながら遊びや活動に取り組む。
- グループの友達と役割分担をしたり、協力したりして話し合いながら活動を進める。
- みんなで気持ちよく一緒に生活するための、集団の中でのきまりやルールを守り、生活する。

- 降園後の時間や個人面談等で個々の幼児の具体的な成長や課題を共有し、幼児が自信をもって行動できるように支えてもらう。
- 幼児同士の意見の相違やいざこざ等の体験が、相手の気持ちに気付いたり相手を思いやったりする機会となるよう、園と家庭が情報を共有し、幼児の気持ちに寄り添った関わりを促す。

<具体的な指導上の留意点>

○友達と共通の目的をもって取り組む場面では、話し合う内容を明確に提示し、一人ひとりが自分の考えを話すこと、相手の話を最後まで聞くことなど、話し合いの仕方を伝えていく。

○活動後には、振り返りの機会をつくり、自分の頑張ったことや友達の良かったこと、一緒に活動して困ったことなどを発表する機会をつくる。このことで幼児同士の励まし合いや認め合いを促し、それぞれの自信につなげていく。

<環境の構成の工夫>

○ルールや遊び方を考えたり、新たにつくったりしながら、ルールを守る楽しさや自分たちで進めていく楽しさを、味わうことができるような遊びを取り入れ、友達と遊ぶ場や時間を十分、保障する。

○学級の課題や行事に向けての取組では、話し合う内容や役割分担を各自が理解し、ある程度の見通しをもち、グループや学級で共通に進めることができるよう、絵や文字、カレンダーなどで整理して示す。

<具体的な活動例>

自分たちでルールを
考えて遊ぶ集団遊び

リレー 鬼遊び
ドッジボール

友達と目的を共有して
取り組む遊び・活動

作品展のグループ活動・
学級での課題活動



友達と協力して一つのものを作る



考えを発表し合う



自分たちでドッジボールを進める



話し合ったことを書き記し、友達と共有する

5歳児後期



2月

<指導のねらい>

- 幼児が自信をもって様々なことに取り組めるような機会を作り、自分の成長を実感し、満足感や達成感を味わうことができるようにする。
- 友達と共通の目的に向かって取り組む活動や、生活全体を通して、互いのよさを認め合うことができるようにする。

身に付けさせたい内容

家庭との連携

生活する力

- 活動の区切りや時間を意識しながら生活する。
- 少し難しいことにも繰り返し挑戦し、できるようになった自信をもつ。
- 食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる。

- 自分で持ち物や衣服の準備や後片付けをすることが、生活における「あたりまえ」の行動となるような関わりを促す。
- 起床時刻、食事時間を一定にするなど、家庭でも生活リズムを整え、親子で実践するよう働きかける。

発見・考え・表現する力

- 一つのことを繰り返し試したり確かめたりして、じっくりと取り組む。
- その場の雰囲気や状況に合わせた言葉の使い方や表現の仕方（声の大きさ等）が分かり、相手に分かるように話す。
- 遊びや生活の中で、文字や数の必要性や便利さに気付き、比べたり、分けたり、読んだり、書いたりする。

- 文字や数量への関心をとらえて、名前（ひらがな）の書き方や、鉛筆の持ち方、姿勢などを意識した関わりや、小学校での学習に期待がもてるような関わりを促す。
- 幼児が自分の言葉で伝えようとしている姿を受け止めながら、相手に伝わるような筋道を立てた話し方、状況に応じた言葉の使い方を確認し、保護者自身も丁寧な言葉遣いを意識するなど、親子での実践を働きかける。

かかわる力

- 自分から進んであいさつをする。
- みんなで一緒に活動する中で、学級の一員としての力を発揮する。
- よいことと悪いことの区別が分かり、自分で考えて行動する。

- 他児と比較せずに、我が子らしい成長の姿を見付けて、良さを認め、幼児にとって自信となるような関わりを促す。
- 多少の葛藤やつまずきがあってもいろいろな友達と関わって遊ぶことの楽しさ、自我を抑制することの必要性など、集団による教育のよさや体験の価値を伝え、理解を促し、ともに成長を喜ぶ。

<具体的な指導上の留意点>

- あきらめずに挑戦することで上達を実感できるような活動を提案し、自信となるようにする。
- 一人ひとりのよさや考えが十分に発揮される機会をつくり、互いに認め合いながら活動を進められるようにして、自分たちでやり遂げる喜びを味わえるようにする。
- 小学校生活への不安も受け止めながら、「楽しそう」「できそうだ」という期待や自信がもてるよう、小学校と綿密に打ち合わせを行い、無理のない交流や体験ができるようにする。



あやとり



こま回し

めあてをもち、いろいろな技に挑戦する



一人ひとりが力を発揮し、みんなで目的に向かってやり遂げる



小学校で給食の配膳を経験する

<環境の構成の工夫>

- 一人ひとりがめあてをもって追究できる活動を用意し、繰り返し取り組むための場と時間を保障する。
- カレンダーや時計の模型、予定を記したホワイトボードなどを活用し、幼児が生活に見通しをもち、自分から必要なことを考えたり、取り組んだりできるようにする。

<具体的な活動例>

目的を持って
取り組む遊び
こま回し、縄跳び、
竹馬など

小学校での
体験授業や
体験給食

1年間の教育の
成果を発表する
生活発表会など

2 スタートカリキュラム

スタートカリキュラムとは、幼児期の育ちと学びを小学校につなぎ、小学校に入学した子どもたちが、遊びや生活を通じたこれまでの経験から、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラムです。

スタートカリキュラムの作成については、小学校学習指導要領 生活科（平成 29 年 3 月告示）に「幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に小学校入学当初においては、幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。」とされています。幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を徐々に各教科等の特質に応じた学びへとつなげていくことが大切です。

入学当初、児童が新しい環境の中で、安心して過ごし、幼児教育から小学校教育へと円滑に移行するためには、幼児期の育ちと学びを理解した教師側の配慮や工夫、家庭との連携が必要です。入学から第 5 週までのスタートカリキュラムの例と、その週の主な指導の実践例や入学当初の環境等を載せていますので、参考としてください。

コラム 1

食物アレルギーへの対応について

食物アレルギーを発症している児童が増加しています。アレルギーの種類や対応も様々です。給食が始まる小学校生活において、家庭と連携した食物アレルギーへの対応が必須となります。できれば小学校入学前から家庭と連携をとりながら、面談等で聞き取りを行い、対応策を家庭と共に考えることが必要です。下記を参考に、食物アレルギーへの対応を必ず行いましょう。

◎家庭との連携

- アレルギーの対応については、給食指導開始前に、「学校生活管理指導表」をもとに、学校と保護者とで対応について、十分に話し合う。
- 給食指導開始前に、エピペンや内服薬の保管場所を確認し、校内でも共通理解しておく。（学校によって保管のルールや場所が違うので、自校の方法を確認する。）

◎学校での対応

- 集団生活における配慮点等、在籍していた園から、具体的なアレルギーへの対応策を聞き取り、情報収集しておく。
- アレルギーの食物を口に含むだけでなく、触れることもできない児童がいる。給食当番の役割分担の際に配慮する。
- 除去対応を必要とする児童の給食は、栄養士（または調理員）から直接、学級担任が受け取る。
- 配膳中にアレルゲン等が混入しないよう、「いただきます」のあいさつをしてからラップを外す。
- 運動によってアレルギー症状が誘発される場合がある。給食後の休み時間や体育は対象児童の様子に注意し、症状が現れたら、その場で安静にしてエピペンを使用し、救急車を要請する。

① 実践例1 時間配分の工夫 —はじめての給食指導—

小学校では、国語や算数などの各教科・領域中心の授業が組み立てられ、1時間ごとにねらいを達成するための学習活動があり、授業の間に休み時間があるという生活です。

これに対して幼児の園生活は、一日を単位として登園から降園までの生活が充実したものとなるよう、環境を構成し、幼児の興味・関心に応じた時間配分がなされています。

そのため入学当初は、児童が見通しをもち、少しずつ時間を意識して行動できるようにするため、各教科の時間だけでなく、給食の指導と配膳、食事の時間配分の工夫が必要です。

② 実践例2 港区ならではの国際科 たのしく あいさつ

港区立小学校では、1年生から週2時間、NT（ネイティブティーチャー）と連携して、国際科の授業を行っています。児童が不安にならず、楽しく学習することができるよう、認め、励まし、支える担任の存在は大きく、小学校においても、担任は一人ひとりに声をかけ、児童との確かな信頼関係を築くよう心がけていくことが大切です。

③ 実践例3 文字指導の工夫 文字の指導

文字への興味は個人差が大きいいため、一人ひとりへのきめ細かな指導と配慮が求められます。幼児期に、文字を読んだり書いたりして遊んだ経験を生かし、小学校でも、できたことを認めたり励ましたりして、満足感・充実感をもたせ、無理なく学習を進めることが大切です。

④ 実践例4 教科と教科の関連性を図った指導の工夫 —生活科と国語科— 大単元「さあ がっこう たんけんだ」 小単元 あくしゅだいさくせん

幼児期の「遊び」を通して行う総合的な指導から、小学校の教科書等の学習を中心とした指導への円滑な移行に際し、授業作りの工夫が必要です。教科と教科の関連性をもたせて、授業を組み立てていくことが大切です。

⑤ 実践例5 幼児期の経験を生かす配慮 —特別活動の工夫— 「学級活動」学級の係を決めよう

小学校教育では、児童のこれまでの育ちや学びを十分に理解した上で、教育活動を展開することが求められます。児童がこれまでに経験したことや身に付いていることを生かすことで、学習への意欲を高めることができます。

そのためには、小学校に入学したばかりの児童が「1年生になった」ということを自覚し、自信をもって学校生活を送ることができるよう、児童同士の関わり方を工夫することが必要です。例えば、入学当初に1年生に対して6年生が様々な場面で手伝いの機会を設定しています。「1年生は学校では1番、年下だから」といって、必要以上に先回りして世話をしてしまうのではなく、1年生自身が見通しをもって自分で考えて行動できるよう、6年生に様子を見ながら見守らせるとともに、1年生ができないことや理解していないことを支援するような関わりをさせるなど、きめ細かな指導の工夫が求められます。

1年生が自分でやろうとする意欲をかきたてられるよう、一人一人の姿をよく見て、授業に限らず、生活上必要な生活習慣や技能、授業規律等を定着させていくことが大切です。

(1) 1年生入門期（4月から5月）のカリキュラムの例

4月 第1週

※○印は単元名もしくは活動名です。（教科書に準じて記載しています。）
・印は指導内容です。 *「学活」とは、「学級活動」のことです。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
ねらい	第1週のねらい ●学校での過ごし方や必要なきまりを少しずつ覚えながら、小学校生活に慣れる。				
1		道徳 (1/3 時間) ◎たのしいがっこう ・机やロッカーの使い方を 知る。 国語 (2/3 時間) ◎どうぞよろしく ・大きな声で挨拶や返事をする。 生活 (1/2 時間) ◎みんななかよし ・水飲み場、トイレの 使い方を 知る。 ・靴箱、傘立ての 使 い方を 知る。	生活 (1/2 時間) ◎道具箱の 使い方 ・引き出し として ・中身の 入れ方 国語 (1/2 時間) ◎どうぞ よろしく ・大きな 声で自 分の 名前を 言う	音楽 (1/2 時間) ◎うたっ ておど っ て なかよ く な ろ う ・セブン ステッ プス 道徳 (1/2 時間) ◎たの しい が っ こ う ・学 習の 準 備の 仕 方 を 知 る。	国語 (1/2 時間) ◎はじ めて の な ま え ・姿勢、 鉛筆の 持 ち 方 に 気 を 付 け て、 自 分 の 名 前 を 丁 寧 に 書 く。 算数 (1/2 時間) ◎くら べた こ と が あ る かな、 おお いの は ど ち ら かな ・数や 量に 着 目 し た 経 験 を 想 起 す。
2	行事 (1時間) ◎入学式 ・〇〇小の 一員 に な っ た こ と を 感 じ、 式に 参 加 す。	生活 (1/2 時間) ◎がっ こ う の こ と が し り た い な ・帰 りの 支 度 の 仕 方 を 知 る。	体育 (1時間) ◎なら んで み よ う ・着 替 えの 仕 方 を 学 ぶ。 ・背の 順の 並 び 方 を 覚 え る。	国語 (1/2 時間) ◎鉛筆の 持 ち 方 ・姿勢 ぐう べ た ぴ ん ・運筆 練 習 プ リ ン ト 道徳 (1/2 時間) ◎い い て ん き ・挿 絵 を 見 て 気 付 い た こ と や 想 像 し た こ と を 話 す。	国語 (1時間) ◎お は な し た の し い な ・読 み 聞 か せ を 楽 し み、 本 へ の 興 味 を 高 め る。 ・学 級 の 本 を 読 む 時 の 約 束 を 知 る。
3	学活 (1時間) ・担任 の 名 前 を 知 る。 ・返 事 の 仕 方 を 知 る。 ◇家 庭 と の 連 携 を 図 る。	音楽 (1/2 時間) ◎う た っ て な か よ し ・友 達 と 一 緒 に 楽 し く 歌 う。	国語 (1/2 時間) 音楽 (1/2 時間) ※学 年 合 同 ◎対 面 式 の 練 習 ・あい さ つ の 言 葉 を 大 き な 声 で 言 う。 ・「セ ブ ン ス テ ッ プ ス」 の 曲 に 合 わ せ て 楽 し く 踊 る。	図工 (1時間) ◎す き な も の の い っ ぱ い ・ク レ パ ス の 使 い 方 ・好 き な も の の 絵 を 描 く。	生活 (1時間) ◎み ん な で が っ こ う を あ る こ う ・並 ん で 校 内 を 巡 る。 ・校 長 室 や 職 員 室、 保 健 室 の 場 所 を 知 る。
4		道徳 (1時間) ◎登 下 校 の 約 束 を 守 ろ う ・下 校 班 の 確 認、 帽 子 の 方 面 別 リ ボ ン の 確 認 ・交 通 安 全 に つ い て	生活 (1/2 時間) ◎が っ こ う の こ と が し り た い な ・帰 り の 支 度 の 仕 方 学活 (1/2 時間) ◎楽 し い 給 食 ・給 食 時 の 身 支 度 ・給 食 の も ら い 方 ・牛 乳 パ ッ ク の た た み 方	算数 (1/2 時間) ◎くら べ た こ と が あ る かな、 おお い の は ど ち ら かな ・数 や 量 に 着 目 し た 経 験 を 想 起 す。 学活 (1/2 時間) ◎楽 し い 給 食 ・給 食 の 配 膳 の 仕 方 ・給 食 の 配 膳 の 仕 方 ・給 食 当 番 の や り 方 ・食 事 の マ ナ ー	国語 (1/2 時間) ◎い い て ん き ・挿 絵 を 見 て 気 付 い た こ と や 想 像 し た こ と を 話 す。 学活 (1/2 時間) ◎楽 し い 給 食 ・給 食 の 配 膳 の 仕 方 ・食 事 の マ ナ ー ・給 食 当 番 の や り 方 ・片 付 け 方
給食 下校		下校班の編成・ コース別学年下校 ・安全な登下校の仕方	ならし給食(牛乳) コース別学年下校	ならし給食(牛乳・パン) コース別学年下校	給食開始 コース別学年下校

第3章
 小学校入学前
 教育カリキュラム
 について



はじめての給食指導

(特別活動・日常の指導)

実践のポイント

入学したばかりの1年生の児童は、成育暦や誕生日、生活リズム等の違いから、食生活についてもかなりの個人差が見られる。給食を楽しみにしている児童が多いが、「食べられないものが出たらどうしよう」「どうしても時間内に食べ終われない」などの不安を感じている児童もいる。「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に関する指導については、特別活動の学級活動に位置付けられており、楽しい学校生活を送るために、4月には児童が食事や配膳の仕方を身に付け、給食の時間を楽しめるように丁寧な給食指導が必要となる。

ねらい

- 食事の前の手洗いや箸の使い方など食事のマナーに関する基礎的事項を学ぶ。
- 準備や後片付けなどの当番を通じて協力することが楽しい給食につながる事が分かる。
- 友だちと仲良く給食を食べることが出来る。

時間の配分

- 紙芝居やパネルシアター等を使って、仕事の手順や給食の準備の順番など、小学校の配膳の仕方が視覚的に分かるようにする。
- 入学当初は、4時間目の半分を給食指導の時間に当て、ゆとりをもって給食の準備を行う。
- 慣れてきたら準備や配膳が15分、食べる時間が20～25分、片付けを10分ほどで行えるようにする。

食べる分量の調節

- 元気な体を作るためには、いろいろな食べ物を食べることが大切であることを知る。
- 食べ物の働きを考え、苦手なものでも食べようとする気持ちをもてるように指導する。
- 少なめコースを設け、配膳された量を食べきれるようにする。食べられたら、おかわりをする。

食事のマナーと環境

- 机を班の形にしてトイレと手洗いを済ませ、机を拭き、ランチョンマットを敷く。
- 給食当番以外の方はトイレと手洗いを済ませたら、自分の席で静かに座って待つ。
- 配膳は、おしゃべりをしないで危険のないように落ち着いて取りに行く。
- 「いただきます」をしてからしばらくの間は「もぐもぐタイム」とし、お昼の放送（放送委員会による放送）を聞きながら、話をせずに食べるようにする。
- 箸やスプーンを使って、皿や茶碗にごはんつぶなどが残らないようにきれいに食べる。
- 片付けは、班で協力して行き、終わった人は終わっていない班を手伝う。



給食当番の役割

- 白衣の着替え方を絵などに示して、着方が分かるようにする。
 - 白衣を着る前にきれいに手を洗う。
 - 帽子はポケットに入れてしまう。白衣のボタンをきちんと留める。マスクをつける。
- 当番の人数を増やし、お皿を持つ人、おかずを盛る人というように分担することで、安全や清潔に気を付けて配膳できるようにする。
- 当番は、配膳台を用意するグループと、ワゴンを取りに行くグループに分ける。
- 牛乳はお盆に置くと重いので、机に配る。給食当番の分の給食の配膳は、次の週の当番が責任をもって行う。
- 児童がスムーズに配膳できるように、担任が役割ややり方を示す。



4月 第2週

	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
ねらい	第2週のねらい ●学校の施設や様子を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しく過ごす。				
1	道徳 (1/3 時間) ◎休み時間の校庭遊びの約束を知る ・引き出しとして ・中身の入れ方 国語 (2/3 時間) ◎いいてんき ・絵の中の人物になりきって話したり音読したりする。	国語 (1 時間) ◎ひらがなの練習 ・ひらがなの学習の仕方を知る。 ・「つ」の文字を丁寧に書く。	体育 (1 時間) ◎鬼遊び ・いろいろな鬼遊びをする。 ◎遊具で遊ぼう ・遊具の使い方を覚え、安全に遊ぶ。	学活 (1 時間) ◎日直の仕事を始めよう ・日直の仕事の内容、朝の会や帰りの会のやり方を知る。	国語 (1 時間) ◎ひらがなの練習 ・「く」の文字を丁寧に練習する。
2	学活 (2/3 時間) ◎あんぜんにひななしよう ・防災ヘルメットの使い方を知る。 行事 (1/3 時間) ◎避難訓練 ・「お・か・し・も」の約束を知る。	体育 (1 時間) ◎集団行動 ・整列の仕方や笛の合図を知り、並び替えゲームをする。	国語 (1 時間) ◎あつまってはなそう ・好きなものを選び、選んだ理由などを友達と伝え合う。	行事 (2/3 時間) ◎計測 国語 (1/3 時間) ◎おはなしたのしいな ・静かに本を読む。	音楽 (1 時間) ◎うたっておどってなかよくなるう ・校歌 ・セブンスステップス ・チェツェッコリ
3	音楽 (1 時間) ◎うたっておどってなかよくなるう ・校歌 ・セブンスステップス ・チェツェッコリ	国際 (1 時間) NT ◎Hello!こんにちは!ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方を知る。 ・NTの自己紹介を聞き、言っていることを想像する。	国語 (1 時間) ◎どうぞよろしく ・自分を紹介する名刺を作る。 ・自分の名前を丁寧に書く。	国際 (1 時間) NT ◎Hello!こんにちは!ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方に慣れる。 ・気分を表す表現を知る。	体育 (1 時間) ◎体つくりの運動遊び ・体を移動する運動遊び ・じゃんけんすごろく ・動物歩き
4	国語 (2/3 時間) ◎おはなしたのしいな ・読み聞かせを聞いて感想を発表する。 学活 (1/3 時間) ◎楽しい給食 ・給食の配膳の仕方を身に付ける。	算数 (2/3 時間) ◎なかまづくりとかず(1)たりるかな ・個数の多少を1対1対応の方法で比べる。 学活 (1/3 時間) ◎楽しい給食 ・給食の配膳の仕方を身に付ける。	生活 (1 時間) ◎みんなでがっこうをあるこう ・他学年の教室や専科の教室の場所を知る。	算数 (1 時間) ◎なかまづくりとかず(2)おなじかずのなかまをさがそう① ・1～5の数詞と数字の対応 ・1～5の数字の書き方算数 (1 時間)	国語 (1 時間) ◎どうぞよろしく ・友達をたくさん増やすために自己紹介をし合うことを知り、名刺に自分の名前を丁寧に書く。
給食	給食	給食	給食	給食	給食
下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校

給食の当番表の例



【国際科】単元名 たのしく あいさつ

(8時間)

4月

実践のポイント

習い事で英語に触れている児童がいるが、国際科の学習に不安を感じている児童も少なくない。とにかく“Good job!”とほめて、自信をもたせる。また、あいさつ→うた→ゲーム→あいさつなど、毎回の活動の流れを一定にすることで安心して活動ができるようにし、積極的に、英語に親しむ態度を育てていく。

ねらい

元気な声であいさつをしたり、友達と楽しみながらゲームをしたりする。

主な学習活動等

*英語の名札を付ける。

- “Hear you are.” “Thank you.” で名札を NT や JT からもらう。

1 はじめのあいさつ

- 元気よく NT とあいさつをする。
- 自己紹介をする。

2 みんなで歌おう

- 「Hello song」を歌う。

3 本時のめあてを知る

4 気分を表す表現を知る

- “How are you?” “Fine, thank you. And you?” など

5 ゲームをする

- 気分を表すカードをもって数名の友達と話す。

6 おわりのあいさつ

- 元気よく NT とあいさつをする。

*英語の名札をはずす

- “Hear you are.” ” Thank you.” で名札を NT や JT に返す。



教師のかかわり

NT…Native Teacher (外国人英語指導講師)

JT…Japanese Teacher (担任)

* NT と JT が役割分担し、チームティーチングで授業を進める。

- 安心感をもたせるように、JT も大きな声であいさつする。

- 自分の名前を言うなどの簡単な自己紹介を毎時間繰り返し行う。

- 明るい雰囲気で行えるように、身振りを付ける。

- デモンストレーションを一緒にする。
- NT が「Today 's Goal」カードを出し、今日の活動内容とゴールを英語で話す。JT が「本時のめあて」を日本語で書き、掲示する。
- NT に続いて、JT も児童と一緒に何度も声を出したり、“Good job!” とほめたりして、児童に自信をもたせる。

- 自分から進んで友達と関わりを楽しみながらゲームをするよう声をかける。



4月

家庭との連携

- 年度当初の保護者会や就学前の学校説明会等で、「国際科」は、本区独自の教科であり、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、言語や文化について体験的に理解し、発達段階に応じて国際人としての資質を育成できるような授業を行っていくことを伝える。
- その際、特に低学年の時期は、簡単な質問に英語で応じたりゲームをしたりすることを通して、英語の表現に慣れ親しみ、楽しくコミュニケーション活動に参加しようとする態度を育てていく授業を行っていくことも伝える。

4月 第3週

	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目
ねらい	第3週のねらい ●学校生活に必要な手順やきまり、約束を確認しながら小学校生活を楽しく過ごす。				
1	国語 (1時間) ◎どうぞよろしく ・友達に知ってもらいたいことを考え、名刺カードを完成させる。	国語 (1時間) ◎どうぞよろしく ・あいさつをして、指名、好きなもの等を伝え合い、たくさん友達と交流する。	道徳 (1時間) ◎「どうとく」ってどんなことをするのかな ◎どきどきわくわくいちねんせい ・学校の人々に親しみ、学級や学校の生活を楽しくしようとする実践意欲を培う。	国語 (1時間) ◎うたにあわせてあいうえお ・姿勢や口形、発声や発音に注意して音読する。 ・あいうえおの文字を使った言葉集めをする。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(4)おなじかずのなかまをさがそう② ・6～10の数について、具体物、半具体物、数図、数字、数詞を関連付ける。
2	体育 (1時間) ◎体づくりの運動遊び ・体を移動する運動遊びじゃんけんすごろく動物歩き	体育 (1時間) ◎鬼遊び ・いろいろな鬼遊びをする。 ◎遊具で遊ぼう ・遊具の使い方を覚え、安全に遊ぶ。	図工 (1時間) ◎おひさまにここに ・好きな形や色で自分だけのおひさまをクレパスで描く。	音楽 (1時間) ◎うたっておどってなかよくなろう ・校歌 ・チェッチェッコリ ・ひらいたひらいた	体育 (1時間) ◎鬼遊び ・いろいろな鬼遊びをする。 ◎遊具で遊ぼう ・遊具の使い方を覚え、安全に遊ぶ。
3	音楽 (1時間) ◎うたっておどってなかよくなろう ・校歌 ・チェッチェッコリ ・ひらいたひらいた	国際 (1時間) NT ◎Hello!こんにちは!ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方に慣れる。 ・気分を表す表現を覚え、ゲームを楽しむ。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(3)5はいくつといくつ ・5の構成を理解する。	国際 (1時間) NT ◎Hello!こんにちは!ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方に慣れる。 ・気分を表す表現を覚え、ゲームを楽しむ。	生活 (1 1/2 時間) 2年生との交流 ◎がっこうたんけん ・2年生に学校のことを教えてもらう。 ・学校を探検して見つけたものをカードにかく。 国語 (1/2 時間) ◎こんなものみつけたよ ・見つけたものや2年生に教えてもらったことを、絵を使って友達に紹介する。
4	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(2)おなじかずのなかまをさがそう① ・1～5の数について、具体物、半具体物、数図、数字、数詞を関連付ける。	生活 (1時間) 2年生との交流 ◎がっこうたんけん ・学校を案内してくれる2年生との顔合わせをする。 ・ゲームで親睦を深める。	書写 (1時間) ◎じのかたち ・形に気を付けて文字を丁寧に書く。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(2)おなじかずのなかまをさがそう② ・6～10の数詞と数字の対応 ・6～10の数字の書き方算数(1時間)	
給食	給食	給食	給食	給食	給食
5	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・「し」の文字を丁寧に練習する。	書写 (1時間) ◎じのかたち ・形に気を付けて文字を丁寧に書く。	国語 (1時間) ◎なんていおうかな ・場面に応じた言葉や動作を考えて伝え合う。	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。
下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校

文字の指導 (国語・書写)

実践のポイント

園では、お店屋さんごっこ、お手紙ごっこ、自由遊びなどで、字形が整わなくても文字を書く経験をしてきている。また、絵本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりして文字を読むという経験もしてきており、文字の学習に対する意欲をもち、期待に胸を膨らませて、入学してきている児童も多い。その意欲を持続していくために、小学校教育では、一人一人の経験に違いがあることを理解し、筆記具の正しい持ち方や姿勢を指導し、簡単な文字からだんだんと難しい文字へと平仮名学習をすすめていく。

ねらい

- 書くときの正しい姿勢や鉛筆の正しい持ち方を知る。
- 姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、線をなぞったり書いたりする。
- 平仮名の字形や筆順、基本点画（とめ、はね、はらい）に気を付けて書く。

指導の順番

- 読みの指導と書きの指導を分けて考える。
- まっすぐな線や折れ曲がった線、曲線などをなぞる運筆練習から始める。
- 平仮名を指導する順番を簡単な文字から難しい文字へ進める。似ている文字を連続して指導する。
 - 一画（つ・く・し・へ・て）
 - 二画（い・り・こ）
 - 似ている形の文字（に・た）（ち・ら・ろ・る）（ま・よ・は・ほ）（め・ぬ）（わ・れ・ね）など

鉛筆の持ち方

- 鉛筆の正しい持ち方を指導する。
 - 鉛筆は斜めに傾ける。
 - 削ってあるところの少し上を持つ。
 - 人差し指と親指で丸くつまむように持つ。
- 正しい持ち方の図を、教室の前に掲示する。



姿勢

- 文字を書く正しい姿勢を指導する。
 - ぐう（机とお腹の間にぐう一つ空ける）
 - ペタ（両足を揃えて床にきちんと付ける）
 - ぴん（背筋をぴんと伸ばす）



指導の工夫

- 手本を指でなぞったり、空書きをしたりする。
- 1マスを4つの部屋に分け、始筆、終筆を意識した指導をする。
- 「さいごをぷりん」「くるりんすう」「かくかくしゅっ」など、音で字形をとらえさせる。
- 字形や折れ、曲がりなどに着目させ、腕を大きく使って大きく空書きをして覚える。



家庭との連携

- 運筆あそびをたくさん経験させる。
- 家庭へも書く時の正しい姿勢や鉛筆の正しい持ち方を知らせ、児童が家庭で文字を書く時に様子を見て、声を掛けてもらうよう呼びかける。

4月 第4週

	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目
ねらい	第4週のねらい ●学校生活に必要な手順やきまり、約束を確認しながら小学校生活を楽しく過ごす。				
1	国語 (1時間) ◎こんなものみつけたよ ・見付けたものや2年生に教えてもらったことを、絵を使って友達に紹介する。	国語 (1時間) ◎こえにだしてようもう ・声の大きさやリズムを工夫して詩の音読を楽しむ。	図工 (2時間) 学年合同 ◎消防写生会 ・クレパスを使ってのびのびと消防自動車の絵を描く。	国語 (1時間) ◎たのしいな、ことばあそび ・「あ」で始まる言葉集めを通して、身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにする	生活 (2時間) ◎あくしゅ だいさくせん ・2年生に案内してもらったことを思い出す。 ・もう一度言ってみよう場所に行き、「よろしくねカード」を渡し、握手をし、自己紹介をする。 ・「あくしゅだいさくせん」を振り返り、「みつけたよカード」を書く。
2	体育 (1時間) ◎かけっこ・折り返しリレー遊び ・順番を工夫しているいろいろなコースを楽しんで走る。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ② ・7の構成を理解する。		音楽 (1時間) ◎はくをかんじとろう ・音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを打ったりする。「さんぽ」「じゃんけんぽん」	
3	音楽 (1時間) ◎はくをかんじとろう ・音楽に合わせて体を動かす。「さんぽ」「じゃんけんぽん」	図工 (2時間) ◎ねんどのかたまりで ・粘土を柔らかくこね、感触を十分に味わう。 ・作った粘土の形から何ができるか考え、思いついたものを工夫して作る。	国際 (1時間) NT ◎Hello!こんにちは! ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方に慣れる。 ・気分を表す表現を覚えて、友達と会話を楽しむ。	体育 (1時間) ◎かけっこ・折り返しリレー遊び ・順番を工夫しているいろいろなコースを楽しんで走る。	国際 (1時間) NT ◎Hello!こんにちは! ごきげんいかが? ・英語のあいさつの仕方に慣れる。 ・気分を表す表現を覚えて、友達と会話を楽しむ。
4	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ① ・6の構成を理解する。		国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ③ ・8の構成を理解する。	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。
給食	給食	給食	給食	給食	給食
5	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。	生活 (1/2時間) ◎がっこうたんけん ・「よろしくねカード」をつくる。 国語 (1/2時間) ◎あかるいこえで ・「よろしくねカード」を使って自己紹介の練習をする。	国語 (1時間) ◎ききたいな、ともだちのはなし ・友達とペアになり好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を声の大きさや速さに気を付けて全体に知らせる。	道徳 (1時間) ◎きょうもげんき ・健康や安全に気を付け、身の回りを整え、規則正しくきまりよい生活を送ろうとする道徳的実践意欲を培う。	国語 (1時間) ◎たのしいな、ことばあそび ・「い、う、か」など、既習の平仮名で始まる言葉を集めて身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにする。
下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校	コース別学年下校



【生活科】大単元「さあ がっこう たんけんだ」

小単元 あくしゅ だいさくせん! (4時間)

実践のポイント

入学したばかりの児童の学校生活への適応を図るために生活科「学校探検」の学習を中心とし、教科と教科の関連を図った学習を進める。幼児期の遊びや生活の経験を踏まえ、児童の思いや願いから活動を組み立てる。

ねらい

学校の施設を知り、利用の仕方がわかり、友達や先生、学校を支える人々と親しみながら、安全な学校生活を送ることができるようにする。

教科の時間の割り振り

<生活科4時間+国語科1/2時間>

- 生活「がっこうたんけんをしよう」 1 1/2 時間
- 生活「よろしくねカードをつくろう」 1/2 時間
- 国語「あかるい こえで」 1/2 時間
- 生活「あくしゅ だいさくせん」 2 時間

主な学習活動等

1 生活「がっこうたんけんをしよう」

※ 36 ページ 15 日目 参照 (1 1/2 時間)

- 2年生に案内してもらう。
- 次回の探検の計画を立てる。

2 生活科「よろしくねカードを作ろう」

(1/2 時間)

- 好きなものを書く。

3 国語「あかるいこえで」

(1/2 時間)

- 自己紹介の練習をする。



4 生活「あくしゅだいさくせん」

(2 時間)

- 学校を探検する。
- 自己紹介をする。
- みつけたよカードを書く。



教師のかかわり

- 2年生にいろいろな場所を案内してもらいながら学校生活に期待をもたせる。
- 「どんな部屋があったか」「どんな人がいたか」など、もう一度行ってみたい場所などを確認する。
- 「あくしゅ だいさくせん」で渡す名刺作りで、簡単に書くことができるワークシートを用意する。

わたしのなまえは、「 」です。
すきな○○は△△です。
あくしゅをしてください。

- 以前学習した「あかるい こえで」を思い出ししながら、一人一人が自信をもって、自己紹介できるように何度も練習する。
- 国語での学びを生かす。
「なんて いおうかな…」
相手や場面に応じた適切な言葉遣い
- 作った「よろしくね カード」をもち、自分の名前、好きな食べ物などを紹介する。
- 「あくしゅ だいさくせん」を振り返り、気付いたこと、大好きな場所、人などを伝え合う。

4月

家庭との連携

- 気持ちのよいあいさつや言葉遣い、動作は、コミュニケーションにとって大切なことである。新しい友達や先生など、自分とかわる人たちとのよい関係を築くためにも習慣化できるように家庭へも呼び掛けていく。

5月 第2週

	21日目	22日目	23日目	24日目	25日目
ねらい	この週のねらい ●今までに覚えた学校での過ごし方やきまりを意識しながら、小学校生活を送ろうとする。				
1	国語 (1時間) ◎はなのみち① ・お話の大体の内容をつかむ。 ・学習の見通しをもつ。	国語 (1時間) ◎はなのみち② ・第一場面を読み、くまさんの様子と家の中の様子を想像する。	国語 (1時間) ◎はなのみち③ ・第二場面を読み、くまとりすの様子を想像する。	国語 (1時間) ◎はなのみち④ ・第三場面を読み、くまとりすの様子を想像する。	生活 (2時間) ◎あさがおをそだてよう ・アサガオの種の様子をよく見て、気付いたことや思ったことを絵や言葉で表現する。 ・アサガオの種のまき方を知る。 ・種をまき、その後のお世話の仕方を考える。
2	体育 (1時間) ◎かけっこ・リレーあそび ・真っすぐ走ったり、蛇行して走ったりする。 ・運動会に向けてのタイム測定。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ⑤ ・10の構成を理解する。	体育 (1時間) ◎かけっこ・リレーあそび ・真っすぐ走ったり、蛇行して走ったりする。 ・運動会に向けてのタイム測定。	音楽 (1時間) ◎はくをかんじとろう ・「たんたんたん(うん)」のリズムで遊ぶ。 「フルーツランド」 「じゃんけんぼん」	
3	音楽 (1時間) ◎はくをかんじとろう ・「たんたんたん(うん)」のリズムで遊ぶ。 「なまえあそび」 「じゃんけんぼん」	図工 (2時間) ◎ちよきちよきかざり ・折ったり重ねたりした色紙をはさみで切り、できた形を楽しむ。 ・できた飾りを教室や身近な場所に飾り、工夫や気付いたことを話し合う。	国際 (1時間) NT ◎How many? いくつ? ・1～10までの数の英語の言い方に慣れ親しむ。	体育 (1時間) ◎リズム遊び ・軽快なリズムに乗って、踊る。	国際 (1時間) NT ◎How many? いくつ? ・1～10までの数の英語の言い方に慣れ親しむ。
4	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ④ ・9の構成を理解する。		学活 (1時間) ◎学級の係を決めよう ・入学してから今までの学級の仕事や入学前に園でしていた仕事を振り返る。 ・作る係の内容を決定する。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(5)いくつといくつ⑤ ・10の構成を理解する。	算数 (1時間) ◎なかまづくりとかず(6)大きさをくらべよう ・1～10の数についての大小の比較をし、その系列を理解する。
給食	給食	給食	給食	給食	給食
5	学活 (1時間) ◎そうじのしかたをおぼえよう ・雑巾の絞り方 ・ほうきの使い方 ・机の運び方	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。	道徳 (1時間) ◎こんなときなんていうの ・時と場に応じた挨拶や振る舞い方について考える。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに気を付けて、他者と明るく接しようとする、道徳的实践意欲を培う。	国語 (1時間) ◎ひらがなの練習 ・筆順や形、位置に気を付けてひらがなの文字を練習する。
下校	学級ごとに方面別に下校	学級ごとに方面別に下校	学級ごとに方面別に下校	学級ごとに方面別に下校	学級ごとに方面別に下校

家庭との連携

- 自分でできることは自分でできるよう、お便りで伝え、家族の一員として毎日続けられる手伝いなどの役割を与えることを促す。

【特別活動】「学級活動」

学級の係を決めよう！

実践のポイント

園での経験や、入学後1ヶ月で行った学級の仕事（活動）をもとに、学校生活に慣れてくるこの時期に学級の係を決める。一人ひとりが学級の一員として何らかの役割を担い、その活動を行うことで、学級集団に貢献できる喜びを感じられるようにすることが大切である。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の「自立心」や「協同性」とのつながりを考慮する。

ねらい

今までの経験をもとに、学級の児童が生活しやすく学校生活が楽しくなるための活動を出し合い、係を決める。

4月

主な学習活動等

1 今までに学級のためにした仕事（活動）を振り返ってみよう

- 入学してから今までにした仕事（活動）を振り返る。
- 保育園や幼稚園でした仕事（活動）を思い起こす。

2 学級のみんなが助かったり楽しくなったりするために、あるとよい係を考えよう

- どんな仕事をする係があるといいかを出し合う。
 - 電気をつける係
 - 黒板に日付を書く係
 - プリントを配る係
 - クイズを出す係
 - 生き物の世話をする係
 - 教室を飾る係
 - 本棚を整理する係
 - 落とし物の連絡をする係 など



教師のかかわり

※入学後2週間目頃より意図的に学級のための仕事（活動）を児童に経験させておく。

- 今までに経験した仕事（活動）の内容とともに、その意義についても考えさせる。
- 2～4人程度の少人数で活動できるよう、たくさん係を出させる。
- 給食当番、掃除当番、既に日直の仕事になっている活動以外は当番的な活動でも認める。
- ※2学期以降、再編成する際に徐々に当番へと移行させたり創意工夫を加えさせたりする。

○係名は、所属が決まってから自分たちで決めさせる。

「ぴっかりでんき係」
「わくわくクイズ係」
「いっぱいそだてちゃうぞ係」など



○定員を決めるのではなく、グループを分けるなどして、できるだけ児童の希望を生かせるようにする。

係と当番の活動の特質

- 係活動——学級生活を向上・発展させる活動。児童の発案、創意工夫によるもの。なくても学級生活上困らないが、自分たちで創意工夫することで、学級生活を楽しくする。
- 当番活動——学級生活を円滑に維持、運営していくために必要不可欠な活動。全員が交代して、公平に仕事を分担することで、学級に貢献していることを実感する。（日直、給食当番、掃除当番など）

コラム 2

園と小学校をつなぎ、安心して活動できる環境作りの例

小学校入学時には、児童が少しでも早く小学校の生活に慣れることが重要です。児童が自分で見て、考えて、見通しをもちながら動くことができるような、視覚的な環境を作ることが大切です。

下記の例を参考に、予定や手順等の掲示を工夫しましょう。黒板や壁等、児童の目に付きやすいところに掲示し、児童が見て、自ら次の行動に移ることができるようにしましょう。

1 見通しをもって生活できるようにするための掲示物の例

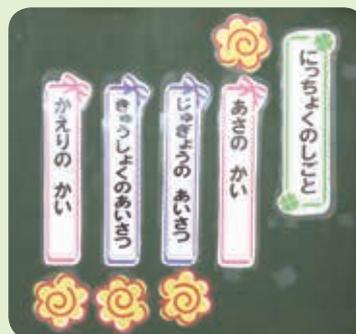
1日の予定



朝の支度の手順



日直の仕事



2 生活上のきまり等を視覚的に理解するための掲示物の例

道具箱の整理整頓



帰りのしたく



体育の準備



声の大きさ

